

こがねいガラ・コンサート 2022 開館10周年スペシャル企画  
**みんなで決めるプログラム 総選挙 投票用紙**

聴いてみたい作品を1つ選んで番号に○を付けてください。複数選択があるものは無効となります。

投票欄	曲目リスト	指揮者・茂木大輔さんからの ひとこと紹介&オススメポイント！
1	交響曲 第25番 ト短調 K183 より 第1楽章	映画『アマデウス』の冒頭、嵐のシーンで用いられて有名になった。モーツァルトの2つしかない短調の交響曲のひとつ。「疾風怒濤」と呼ばれたハイドン初期の交響曲との共通性があり、ホルン4本を用いる異例の編成や、オーボエの独奏が音楽に緊張感を与えている。
2	オーボエ協奏曲 八長調 K314 より 第1楽章	ザルツブルク宮廷楽団に勤務していた当時、新任のイタリア人オーボエ奏者フェルランディスの求めに応じて書かれた。のちにマンハイムの名手ラムが絶賛して幾度も演奏したとされている。日本では「のだめカンタービレ」での登場も有名になった。エースはウチの秘蔵っ子だしませ〜。
3	交響曲 第31番 二長調 K297 《パリ》より 第3楽章	就職を全て断られ、母も亡くなるなど、パリで絶望の極地にあったモーツァルトが唯一の成功を呼んだ交響曲。第3楽章では演奏中に大喝采が起き、気を良くしたモーツァルトは帰り道、「パレ・ロワイヤルでアイスクリームを食べて帰りました」と父親に手紙を書いている。
4	フルートとハープのための協奏曲 八長調 K299 より 第2楽章	パリ滞在中に貴族の結婚式のために依頼されて書いた作品で、映画『アマデウス』でも用いられた名曲。ゆっくりと花開くようなハーブのアルペジオとフルートの歌、それを彩るセンチメンタルな和音の数々は、モーツァルトのイタリア・フランス・ドイツの音楽を知り尽くした真骨頂。
5	交響曲 第35番 二長調 K385 《ハフナー》より 第4楽章	ウィーンでフリーの音楽家として華々しい成功を続けた時期、故郷ザルツブルクからの依頼で書かれたセレナーデを交響曲に編曲し、ブルク劇場でのリサイタルで上演した作品。これがモーツァルトの人生最大のコンサートとなった。さまざまなオペラの雰囲気が出た愉快なロンド。
6	交響曲 第36番 八長調 K425 《リンツ》より 第2楽章	父親の強い反対を押し切ってコンスタンツェと結婚したモーツァルトが、披露のために父の待つザルツブルクを訪れ、その帰路立ち寄ったリンツで急に請われて数日で作曲したという作品。この第2楽章は新婚さんらしく、この世のものとは思われない愛に満ちた美しさ。いらっしゃ〜い♡
7	交響曲 第38番 二長調 K504 《プラハ》より 第3楽章(フィナーレ)	ウィーンでも数多の陰謀や羨望に苦しんだモーツァルトが、最も幸せだったのが《フィガロの結婚》、《ドン・ジョヴァンニ》を携えて乗り込んだプラハだった。「道ゆく人が皆フィガロのアリアを口ずさんでいる」のを馬車から眺め、毎日が演奏会。そんな飛び跳ねるような幸福そのものの音楽。
8	交響曲 第39番 変ホ長調 K543 より 第3楽章「メヌエット」	貧しく孤独になったモーツァルトは、生活の糧を求めて驚くべき短期間に最後の3つの交響曲を書いたが、かつては「彼の生前には一度も演奏されなかった」と悲しみをさそっていた。このメヌエットは、宮殿のような堂々たる華やかさと中間部での「呑気な」クラリネット・ソロが運ぶ密かな悲しみが大きなコントラストを作り、ベートーヴェンに絶大な影響を与えた。
9	交響曲 第40番 ト短調 K550 より 第1楽章 (クラリネット版)	2つしかない短調の交響曲のもうひとつがこれ。その精神的な深み、悲しみ、疾走、恐ろしいばかりの絶望の淵に差し込む管楽器のわずかな希望など、わずか数分の音楽のうちに人生の全てを体験したような気持ちになってしまう。このクラリネット版は、モーツァルトが後から追加した版。そのことが、この3曲もどこかで演奏されたに違いないという慰めを与えてくれる。
10	交響曲 第41番 八長調 K551 《ジュピター》より 第4楽章(フィナーレ)	ギリシア神話のゼウスに相当する最も偉い神様の名前を戴く理由は、おそらくこの第4楽章の醸し出す、宇宙的で神秘的な世界によるものだろう。交響曲のフィナーレとしては全く異例なフーガ的な音楽として作られていて、演奏しても指揮しても、何か常ならぬ興奮に包まれます。きっとこの曲に票が集まってしまいうらうなあ…と思いつつ、他のも聴いてね?とっておりますよ。

◆この曲を選んだ理由・思い出のエピソード

投票方法

館内設置の投票箱に投函、もしくは郵送かFAXにてお送りください。また、当館HPからWeb投票も可能です。

小金井 宮地楽器ホール

〒184-0004 東京都小金井市本町 6-14-45

FAX 042-380-8078



【お問合せ】小金井 宮地楽器ホール チケットデスク

TEL 042-380-8099 (10:00~19:00/第2・3火曜日休館)